

令和5年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまろ

令和5年度

京都府

1 第4次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合	目標	—	72%	74%	76%	78%	80%
		達成状況	69.1%	65.7%	53.1%	59.6%		
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 心身の健康増進には、栄養バランスに配慮した食事を習慣的に摂取することが大切で日本型食生活にも繋がります。								
<調査方法> 農政課「食育・食生活にかかるアンケート調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録) (きょうと食育強化月間の啓発) (動画を活用した子育て世代向け食育啓発) (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発) (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発) (食育事例集の作成、啓発) (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発) ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2	朝食を毎日食べる府内小学生の割合 (6年生)	目標	—	87%	89%	91%	93%	95%
		達成状況	85.3%	84.3%	83.1%	82.5%		
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合 (3年生)	目標	—	82%	84%	86%	88%	90%
		達成状況	79.7%	80.0%	77.6%	76.2%		
<担当課> 教育庁保健体育課、社会教育課、学校教育課								
<目標設定の考え方> 朝食は、基本的な生活習慣を身につける観点から非常に重要であり、とりわけ、子どもの朝食摂取に向けて、家庭や学校等関係者が連携し取組を推進します。								
<調査方法> 文部科学省「全国学力・学習調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府食育推進連絡協議会による取組 ・京都府食育推進交流会による取組 ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰への推薦及び広報活動(偶数年度実施) ・農政課実施の食のみらい宣言への参加を促す。 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	きょうと食いく先生の授業数	目標	—	425授業 /年	457授業 /年	490授業 /年	522授業 /年	554授業 /年
		達成状況	373授業 /年	216授業 /年	429授業 /年	579授業 /年		
<p><担当課> 農林水産部農政課</p>								
<p><目標設定の考え方> 食の専門家である「きょうと食いく先生」が持つ知識や経験で、学校等での食育活動を支援します。</p>								
<p><調査方法> 農政課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> ・きょうと食いく先生等派遣事業</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース)	目標	—	22%	24%	26%	28%	30%
		達成状況	20.6%	17.7%	18.6%	21.5%		
<p><担当課> 教育庁保健体育課</p>								
<p><目標設定の考え方> 学校給食に地場産物（京都府産の食材）を活用することで、地域の自然や食文化等の理解を深め、感謝の心を育むなどの取組を推進します。</p>								
<p><調査方法> 文部科学省「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> ・市町（組合）教育委員会と農林水産部局が連携し、学校給食への地場産物活用が促進するよう促す。 ・京都府学校給食会へ地場産物使用状況等の情報提供を行い、府内産食材の取扱い促進について依頼する。</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	目標	—	70%	77%	85%	92%	100%
		達成状況	68.0%	65.4%	73.1%	76.9%		
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。								
<調査方法> 農林水産省「食育推進計画等に関する調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> 市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
6	きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店数	目標	—	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗
		達成状況	788店舗	796店舗	804店舗	811店舗		
<担当課> 健康福祉部健康対策課								
<目標設定の考え方> エネルギーやアレルギー表示、野菜や塩分に配慮した食事を提供する「食の健康づくり応援店」を通して、府民の健康的で安全な食環境整備を推進します。								
<調査方法> 健康対策課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店事業 地域の食に関連する情報を収集し、対象店舗を開拓。会議等における応援店PRのチラシの配布。 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
7	京の食文化の語り部のオンライン講座 受講者数	目標	—	100人 /年	150人 /年	200人 /年	250人 /年	300人 /年
		達成状況	0人 /年	81人 /年	326人 /年	401人 /年		
<担当課> 農林水産部流通・ブランド戦略課								
<目標設定の考え方> 府内の農林水産物や食文化に造詣の深い京の食文化の語り部の普及活動を通じて、府内農林水産物の魅力発信や食育活動の活性化を推進します。								
<調査方法> 流通・ブランド戦略課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会の開催 ・京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルを活用した動画の公開 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
8	和食文化人材の育成人数 (京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数)	目標	—	90人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年
		達成状況	36人 /年	102人 /年	135人 /年	134人 /年		
<担当課> 総合政策環境部大学政策課								
<目標設定の考え方> 食文化に関わる（担う・支える・楽しむ）人を増やし、その裾野を広げる取組を推進します。								
<調査方法> 大学政策課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・和食文化人材の育成 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
9	ICTを活用した情報発信数	目標	—	60回 /年	120回 /年	180回 /年	240回 /年	300回 /年
		達成状況	30回 /年	372回 /年	402回 /年	319回 /年		
<担当課> 部局共通								
<目標設定の考え方> 新しい生活様式・新たな日常への対応として、オンラインでの情報発信等、ICTを活用した効果的な取組を推進します。								
<調査方法> 担当課集計								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組【農林水産部農政課】 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発) (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発) ・京都府食の府民大学の講義の充実【農林水産部農政課】 ・京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信【農林水産部農政課】 ・cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信【農林水産部流通・ブランド戦略課】 ・京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発【農林水産部畜産課】 								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
10	ICTを活用して食育宣言を行う府民の数	目標(累計)	—	500人	1,500人	3,500人	6,500人	10,000人
		達成状況	0人	2,147人	5,216人	8,795人		
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 健全な食生活の実践に向けて、具体的な取組目標や取組結果等を宣言するもの。従来の紙媒体等による募集方法からSNS等を効果的に活用する方法に替えることで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促します。								
<調査方法> 農政課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発) 								

2 取組一覧（令和5年度）

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対心					目 標 と の 対 心	推 進 計 画 に お け る
				多様な主体			効果的な推進			
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常		
農林水産部										
農政課										
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録)	10	A	○		○				1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうと食育強化月間の啓発)	10	A	○		○				1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)	11	A	○			○	○		1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)	11	A	○	○	○	○	○		10
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)	12	A	○		○				1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)	12	A	○		○				1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)	13	A	○		○				1
	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)	13	A			○	○			3
	子ども用調理器具貸出事業の実施	13	B			○				
	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援	14	A				○			5
	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサ ポーターの養成、食育体験講座の開催	14	A				○	○	○	1
	京都府食の府民大学の講義の充実	14	A	○	○	○	○	○	○	9
	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信	15	A	○	○	○	○	○	○	9
農村振興課										
	子どもを対象とした農業体験の開催	15	A				○			
	高校生・大学生による農業関連実践活動	15	A			○				
経営支援・担い手育成課										
	農業体験活動等の推進	16	B					○		
流通・ブランド戦略課										
	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会	17	A					○		7
	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信	17	A	○				○		9
	「京野菜マルシェ」の開催	17	A					○		
	「旬の京野菜提供店」の認定	18	A					○		
	京都府農林水産フェスティバルの開催	18	A	○		○				

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進 計画 との 対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常	
農産課									
	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	18	A				○		
	茶育の推進	18	A		○		○		
畜産課									
	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発	19	A				○	○ 9	
水産課									
	水産教室の開催	19	A		○		○		
	都市漁村交流の促進	19	A			○	○		
総合政策環境部									
大学政策課									
	和食文化人材の育成	19	A				○	8	
循環型社会推進課									
	食品ロス削減のための啓発事業の実施	20	A				○		
丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）									
	郷土料理作り	20	A	○	○	○	○	○	
	おくどさん体験及び夕食づくり	20	A	○	○	○	○	○	
	石窯パン・ピザ作り	21	A		○	○	○	○	
	アースデイ丹後	21	A	○		○	○	○	
文化生活部									
文教課									
	私立幼稚園・学校等への食育推進事業	21	A		○				
健康福祉部									
こども・青少年総合対策室									
	食育に関する事業案内等の周知	21	A		○				
家庭支援課									
	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進	22	A			○			
高齢者支援課									
	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成	22	A	○		○		1	
健康対策課									
	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	22	A			○		6	
	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	22	B			○		1	

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応					目 標 と の 対 応	推 進 計 画 に お け る 目 標 と の 対 応
				多様な主体			効果的な推進			
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常		
乙訓地域										
	乙訓保健所									
	家庭における食育推進をねらいとした啓発	23	A	○			○			
山城地域										
	振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	山城マルシェの開催	23	A			○	○			
	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	24	A			○		○		
	やましろ産食材を使った商品開発と情報発信	24	A	○			○	○		9
	山城の食文化体験と情報発信	24	B	○			○	○		
	山城北農業改良普及センター									
	京田辺市生活研究グループ連絡協議会 料理講習会	24	B			○				1
	山城南農業改良普及センター									
	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）	25	A	○		○	○			
	山城北保健所									
	健康づくりイベント等における食育啓発活動	25	A	○		○				1
	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	25	A	○		○				1
	山城南保健所									
	社員食堂を通じて健康づくりに取り組む企業への情報発信	26	A			○				1
南丹地域										
	振興局農林商工部地域づくり振興課									
	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	26	A			○				
	南丹農業改良普及センター									
	地元小学校の児童を対象とした食育活動	26	A		○					3
	南丹保健所									
	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催	27	A	○	○	○				
	京都丹波地域配食サービスリストの更新及び普及	27	B	○		○				
	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくりの取組「けんこう食堂化プロジェクト」	28	A	○	○	○				

担 当 ま た は 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応					目 標 と の 対 応
				多様な主体			効果的な推進		
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常	
中丹地域									
中丹西農業改良普及センター									
	多様な人材の農業参入・参画を促進（幼稚園）	28	A		○		○		3
	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）	29	A		○		○		
	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）	29	A		○		○		3
中丹西保健所									
	きょうと健康長寿推進府民会議	30	A			○			
	社員食堂を通じた健康づくりの取組	30	A			○			
丹後地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	いちおし食材PRイベントの開催	30	A			○	○		
丹後農業改良普及センター									
	小学校の食育活動に対する支援	31	A		○				
丹後保健所									
	食育フォーラムの開催	31	A	○	○		○	○	
	食育月間の取組	31	A				○		
教育委員会									
保健体育課、学校教育課、高校教育課									
	学校教育活動全体を通じた食育の推進	32	A		○				
	調理体験等の充実	32	A		○				
	学校給食を活用した食育の推進	32	A		○				
保健体育課、学校教育課、社会教育課									
	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進	33	A	○					2
保健体育課									
	地場産物を取り入れた学校給食の促進	33	A		○				4
	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	33	A		○				3
	教職員研修の充実	34	A		○				
教職員人事課									
	採用選考試験等の実施	34	A		○				
件 数	70			26	28	36	32	14	

3 個別の取組（令和5年度）

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録)				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク^(※)において、府内で食育に取り組む様々な関係者が集い、それぞれの特性を生かしながら、協働し、府民運動として食育を推進します。きょうと食育ネットワーク団体やきょうとの食育サポート企業の食育支援活動など食育の情報をホームページ等で情報提供します。</p> <p>(※)保健衛生関係、農林水産関係、教育関係、大学関係、商工関係、消費者関係、NPO等、報道関係、行政関係の計86団体が加入</p> <p>目標：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p>				
取組の実績	<p>令和3年4月から開始した「第4次京都府食育推進計画」を踏まえ、きょうと食育ネットワーク参画団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」などの食育活動を行うこととして、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う食育活動の変化と今後の展望について」をテーマに、情報交換会をオンラインで開催しました。</p> <p>実績：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p> <p>○情報交換会 日 時 令和5年7月5日（水）オンライン開催 内 容 (1)「京都府における食育活動の変化と今後の取組について」（京都府農政課） (2)「こどもが主役の料理教室～これまで・コロナ禍・そして、これから」（きょうと食育ネットワーク会員団体 京都こどもクッキング） (3)「大阪ガスネットワークの食育活動の取組について」（きょうとの食育サポート企業 大阪ガスネットワーク株式会社 京滋事業部） 参加者 68名（食育ネットワーク会員、きょうとの食育サポート企業、きょうと食いく先生、学校、関係団体、行政等食育関係者）</p>				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうと食育強化月間の啓発)				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進します。</p>				
取組の実績	<p>参画団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進しました。京都府食の安全・食育情報 Facebook、X（旧Twitter）等による情報発信、府庁ロビー展示を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>京都府食の安全・食育情報Facebook、X（旧Twitter）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>京都府庁ロビー展示</p> </div> </div>				
評価	A				


施策	家庭、食育の関心、 新たな日常	目標	1
----	--------------------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)		
取組の内容	府民の間で広く食育への関心を高め、家庭で食育を実践するきっかけとするため、仕事や家事に忙しい「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「レシピ動画」を制作し、動画を題材とした「食育トークショー」を開催します。 目標：動画の制作 2編、トークショーの開催 1回		
取組の実績	府民の間で広く食育への関心が高め、京都の食文化を家庭で楽しく継承する契機とするため、食育の啓発が届きにくかった「子育て世代」を主な対象として、子どもと挑戦できるレシピや、子どもが料理するときポイントを紹介する動画を制作し、SNS等を活用して広く発信しました。 また、子どもと楽しく料理することの意義を紹介し、京都の食材や食文化を取り入れた家庭での食育について提案するトークショー「“できる”から始まる楽しい食育」を開催しました。 出演：小宮 理実氏（料理研究家）※レシピ考案 添田 潤氏（JA京都にのくに万願寺甘とう部会協議会会長／きょうと食いく先生） 山下 満智子氏（同志社女子大学非常勤講師） 実績：動画の制作 4本 <ul style="list-style-type: none"> 『元気に挑戦！万願寺甘とうレシピ』1本 (万願寺甘とうのドライカレー、コーンのかきたま汁の料理手順等を紹介する動画) 『家庭で楽しみ、育む満腹レシピ』1本 (万願寺甘とうと豚バラ肉で作るハンバーグ、かにかまときゅうりの和え物の料理手順や子どもが料理することの意義等について解説する動画) 『ダイジェスト版』各2本(15秒・60秒) 発信（京都府広報課SNS、京都府食の安全・食育情報SNS、関係団体SNS） トークショー 開催日時：令和5年7月29日（土）13時30分～15時 参加者：135人 (会場43人、オンライン92人、アーカイブ視聴535人)		
評価	A		

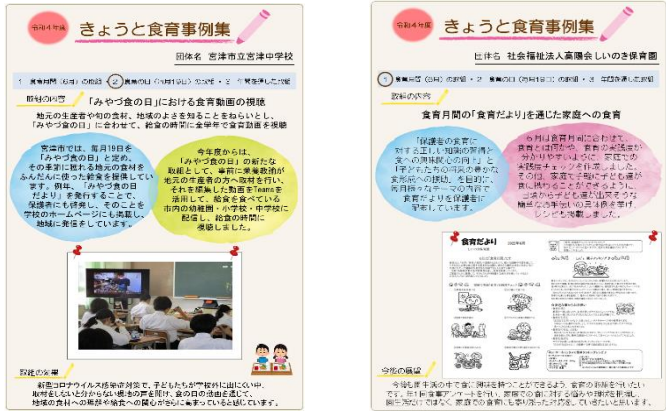
施策	家庭、学校等、地域、 食育の関心、新たな日常	目標	10
----	---------------------------	----	----

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)		
取組の内容	望ましい食生活の実践に向けて、府民自らが具体的な取組目標を宣言し、取組結果を共有するもので、きょうと食育ネットワークの連携・協力のもと、SNS等を効果的に活用することで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促進します。 目標：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 3,500人		
取組の実績	「第7回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール」やイベント等において、府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。 コンクールでは、個人では小学生～大学生、一般の方、グループでは保育園、中学校、高校、地域の団体など、全体で185件・615人から幅広い応募がありました。また、農林水産フェスティバル2023ではコンクールの特別賞投票を行い、コンクールと連動して府民自らの食育宣言を収集しました。その他、食に関するイベントと連動して参加者アンケート方式で、府民自らの食育活動の宣言を収集しました。 ○第7回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール：615人 概要：府民等から、「自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言）」と「その目標達成に向けた実践活動」を募集し、応募作品の中から事務局及び選考意見聴取会で入賞作品を決定し、表彰する。 募集内容：①自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言） ②目標達成に向けた実践活動についてのコメント ③活動の様子が分かる写真等 応募方法：Instagramでの応募、Eメールまたは郵送での応募 募集期間：令和5年6月5日～11月3日 応募総数：185点（メール・郵送155点、Instagram30点） 入賞：20点（最優秀賞1点、優秀賞5点、特別賞3点、佳作11点） 入賞者には、協賛の「きょうとの食育」サポート企業から副賞を授与 ○参加者アンケート：2,964人 実績：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 3,579人		
評価	A		

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)		
取組の内容	府内における食育活動を推進するために、きょうと食育ネットワーク団体や、市町村、府、学校など公的機関、地域の活動グループ等が行う食育活動を積極的に支援・協力する企業を『「きょうとの食育」サポート企業』として登録し、ホームページ等で情報提供を行います。 また、きょうとの食育サポート企業と連携して、食育啓発を行います。		
取組の実績	<p><「近畿の旬の野菜をおいしく食べようレシピブック」の作成、イベント開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時 令和5年10月15日(日) ■場所 イオンスタイル京都桂川 ■内容 レシピブックの配付(京都府産の九条ねぎや京みず菜等、近畿の旬の野菜等を使用したレシピ、各自治体からのお知らせ等を掲載)、メニュー展示、京都府産食材の展示・販売・リーフレット配架、京都府・京都市作成の野菜啓発動画放映、食育ポスター掲示 ■連携 味の素(株)大阪支社、イオンリテール(株)、明治安田生命保険相互会社、京都市、京都府 <p><「朝食摂取促進ポスター」の作成、掲示></p> <ul style="list-style-type: none"> ■内容 朝食摂取を促進する啓発ポスターを作成し、ロビーやイベントにおいて掲示 ■連携 大塚製薬(株) 		
	 <p>朝食摂取促進 ポスター 野菜摂取啓発 レシピブック</p>		
評価	A		

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体等の食育情報等を収集し、ホームページ、FacebookやTwitter、食育メーリングリスト等により提供します。きょうと食育ネットワーク団体等による食育の取組を情報発信します。		
取組の実績	<p>きょうと食育ネットワーク団体、市町村・京都府関係部局等から食育情報を収集し、京都府食の安全・食育情報Facebook、X(旧Twitter)で紹介しました。</p> 		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」の取組を実施します。		
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や家事に忙しい子育て世代を主な対象として、身近に食育を実践できる「ノウハウ」と「エビデンス」を盛り込んだショートムービーを制作するとともに、トークショーのライブ配信やSNS等による拡散を実施しました。(再掲) ・味の素(株)、京都市等と連携し、野菜を使った手軽に作れるメニュー7品を掲載した野菜摂取量向上の啓発レシピブックを作成・配付し、イオンスタイル京都桂川で啓発イベントを開催しました。(再掲) ・大塚製菓(株)と連携し、朝食摂取促進ポスターを作成し、ロビーやイベントにおいて掲示しました(再掲) ・ICTを活用して府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。(再掲) 		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	学校等、地域	目標	3
----	--------	----	---

取組事項名	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)		
取組の内容	<p>学校等において、食の大切さや食を支える農林水産業の重要性を学ぶ機会を増やし、農林水産物の生産や調理・加工等の食農体験指導を行う人材を育成するため、きょうと食いく先生養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。</p> <p>また、きょうと食いく先生を、保育所、学校、地域等に派遣し、体験を通じた「命」と「食」の大切さを学ぶ食育活動を支援します。</p> <p>目標：養成講座の開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 490授業 京都府食育推進交流会の開催 1回</p>		
取組の実績	<p>きょうと食いく先生養成講座を開催し、29名の認定を行いました。また、きょうと食いく先生と教職員の交流会を6月に開催しました。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症対策の制約のため授業数は減少しましたが、制約の緩和に伴い、授業数がV字回復し、令和5年度は目標を達成する予定です。</p> <p>引き続き、一層周知を図り、食いく先生活用拡大を目指します。</p> <p>実績：養成講座の開催 1回(オンライン会場及び現地5会場) きょうと食いく先生の授業数 579授業 京都府食育推進交流会の開催 1回(オンライン開催)</p>		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	学校等	目標	
----	-----	----	--

取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施		
取組の内容	<p>子どもを対象とした調理実習を推進するため、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。</p> <p>目標：10回</p>		
取組の実績	<p>保育所等で実施する調理実習の機会に子ども用調理器具の貸出を実施しました。インフルエンザ等の影響で、調理実習の開催が中止となった保育所等があったことから、実施回数は目標に達しませんでした。</p> <p>実績：7回</p>		
評価	B		

担当または窓口 農政課		施策	地域	目標	5
取組事項名	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援				
取組の内容	市町村食育推進計画作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。 目標：市町村等食育担当者会議の開催 1回				
取組の実績	市町村における食育推進計画の策定及び食育活動の推進に向けて、国及び府の情報提供や市町村の事例報告、意見交換を行うことにより、地域の食育活動が推進されるよう、市町村等担当者会議を開催しました。令和5年度は4市町村策定し、府内策定率は76.9%になりました。 実績：市町村等食育担当者会議の開催 1回				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	地域、食育の関心、新たな日常	目標	1
取組事項名	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催				
取組の内容	将来を担う若者が食に触れ、親しむ機会を増やし、食の安全及び食文化、食を大切する意識の向上を更に高めるため、大学生等を対象に、食の安心・安全や食育等に関する知識や府が実施する事業等に関する研修会等を開催し、食に関して高い意識を持つ大学生等を養成します。 また、大学生等が京都府の農業や食文化、食育等に対する理解醸成を図ること等を目的に、食育体験講座を開催します。 学生等が動画などの啓発媒体の作成・周知に携わるなど、食の重要性を学ぶ者自らが、周囲を巻き込みながら情報発信を行います。 目標：養成数 191名、食育体験講座の開催 1回				
取組の実績	第4次京都府食育推進計画の「若い世代の食への関心の向上」「ICTを効果的に活用した食育の取組」の一環として、大学生にきょうと食いく先生の取材の機会を提供し、京都府の農林水産業や食文化に対する理解醸成とともに、動画作成をはじめ効果的な食育の手法の提案を通じて、食への意識向上を図ることを目的に、研修会を開催しました。 実績 養成数 206名、食育体験講座の開催 1回				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	京都府食の府民大学の講義の充実				
取組の内容	府民の食に関する学習環境の充実を図るため、忙しい方でも、時間や場所にとらわれずに学べるツールとして、「京都府食の府民大学」（京都府食の安全・食育YouTube）の動画公開を充実させ、食に関する知識や技術を習得する機会を提供します。 (京都府食の府民大学： https://www.pref.kyoto.jp/fumindaigaku/index.html) 目標：総動画再生数 5万回				
取組の実績	新型コロナウイルス感染症の影響で集合型のイベント等に参加しにくい中でも、食に関する情報を入手できるよう、9講座を新規作成し、「京都府食の府民大学」のサイトに公開しました。 実績：動画総再生回数 7.3万回 新規講座 9本 〔“できる”から始まる楽しい食育 4本、 食の多様性 1本、事業者向け食品表示講習会 1本、食いく先生紹介動画 3本〕				
評価	A				

担当または窓口 農政課

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-----------------------	----	---

取組事項名	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信		
取組の内容	<p>京都府食の安全・食育情報Facebook、Twitter等で、食育の事例紹介や、食のまめ知識、郷土料理のレポート等、食に関する情報を定期的に発信します。</p> <p>目標：SNS等を活用した情報発信数 120回</p>		
取組の実績	<p>SNS（京都府食の安全・食育情報Facebook、X）を活用して定期的に情報発信し、広く府民等に食に関する取組情報等の提供を行いました。</p> <p>実績：136回</p> 		
評価	A		

担当または窓口 農村振興課

施策	地域	目標	
----	----	----	--

取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催		
取組の内容	<p>次世代を担う子ども達が地域内外の人達と一緒に、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組を実施します。</p> <p>目標：農業・農村体験イベント 10地区</p>		
取組の実績	<p>ふるさと保全活動等を府内15地区で実施しました。棚田模型を活用し、田んぼが有する多面的機能について学習するとともに、それらを支える農業用施設等を幅広く学び、地域の農業・農産物について深く考える機会となりました。</p> <p>実績：農業・農村体験イベント 15地区</p>		
評価	A		

担当または窓口 農村振興課

施策	学校等	目標	
----	-----	----	--

取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動		
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標：参加学校数 2校</p>		
取組の実績	<p>令和5年度は教育実践パートナーシップ活動（※）等を府内3校で取組を実施しました。「農業」をキーワードに、地域の方とともに水利施設等の農業用施設の学習や完熟堆肥の研究を実施し、学生の知識を深めることができました。</p> <p>（※）教育実践パートナーシップ活動：水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組</p> <p>実績：参加学校数 3校</p>		
評価	A		

施策	食育の関心	目標
----	-------	----

取組事項名	農業体験活動等の推進	
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、若いファミリー層など幅広い年齢層を対象に野菜や果樹（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ植菌体験（しいたけオーナー）（30人） ・タマネギ収穫体験（300人） ・万願寺とうがらし収穫体験（400人） ・ブルーベリー収穫体験（600人） ・サツマイモ収穫体験（600人） ・ミカン収穫体験（150人） <p>目標：2,080人</p>	
取組の実績	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫体験を行い、「農業体験」活動を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ植菌体験 実施日：4月8日 他2日、参加者：45人 ・タマネギ収穫体験 実施日：5月12日～5月29日、参加者：70人 ・万願寺とうがらし収穫体験 実施日：7月15日～8月18日、参加者：297人 ・ブルーベリー収穫体験 実施日：7月22日～8月31日、参加者：552人 ・サツマイモ収穫体験 実施日：10月14日～11月8日、参加者：560人 ・ミカン収穫体験 実施日：11月10日～11月19日、参加者：276人 <p>実績：1,800人</p>	
評価	B	



施策	食育の関心	目標	7
----	-------	----	---

取組事項名	京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにしたオンライン講演会		
取組の内容	京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化の語り部によるオンライン講演会を開催します。		
取組の実績	<p>●京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化の語り部によるオンライン講演会を全3回開催しました。</p> <p><開催実績></p> <p>第1回目：【京のくだもの】～京丹後から旬のフルーツをお届け～ 開催日時：令和5年9月3日（日）10：00～12：00 講師：松田武子氏 参加者：16名</p> <p>第2回目：旬の丹波くりをあじわい館で堪能！！ 試食・お土産付き講演会 開催日時：令和5年10月8日（日）14：00～16：00 講師：川添智未氏 参加者：30名</p> <p>第3回目：親子で「えびいも」を知って味わおう！ 親子向け京野菜教室 開催日時：令和5年11月3日（金・祝）10：00～12：00 講師：民野摂子氏 参加者：10名</p> <p>●京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルにおいて、京の食文化の語り部が京都の食文化やあじわい館の展示を紹介する動画を公開しています。 現在の動画公開本数：10本</p>		
評価	A		

施策	家庭、食育の関心	目標	9
----	----------	----	---

取組事項名	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信		
取組の内容	cookpad京都府公式キッチンにおいて、旬の京都府産農林水産物の情報発信、レシピ紹介を実施します。		
取組の実績	<p>cookpad京都府公式キッチンにおいて、京都府産農林水産物やそれらを使用したレシピの紹介に加え、食に関するイベント等の情報発信も実施しました。</p> <p>年間掲載数：96件</p>		
評価	A		

施策	食育の関心	目標	
----	-------	----	--

取組事項名	「京野菜マルシェ」の開催		
取組の内容	「京のブランド産品」をはじめ、京都の野菜を豊富に品揃えした「ほんまもん京野菜取扱店」等において、PR・販売促進等を行う「京野菜マルシェ」を開催し、京都府産農林水産物の周知・普及を図ります。		
取組の実績	<p>府内小売店等で「京野菜マルシェ」を開催し、京野菜の販売促進・PRを行うことで、京野菜の消費拡大及び生産振興に繋がりました。</p> <p>期間：令和5年11月1日（水）～12月8日（金） 参加店舗：府内小売店・量販店、直売所、自動販売機 計78店舗 内容： ・京野菜購入者を対象としたプレゼントキャンペーン（応募数：456件） ・プレゼントキャンペーンに係るディスプレイ資材、告知宣伝資材の提供 ・販売促進員派遣による店頭での試食販売、PR</p>		
評価	A		

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	「旬の京野菜提供店」の認定			
取組の内容	いつでも、おいしい京野菜が食べられる飲食店「旬の京野菜提供店」を認定し、京野菜及び京都府産農林水産物の普及に取り組みます。			
取組の実績	全認定店：171店舗（京都府内）、61店舗（首都圏） 令和5年度は、新規認定店舗はありませんでした。			
評価	A			

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	京都府農林水産フェスティバルの開催			
取組の内容	農山漁村と都市との交流機会として、京都府農林水産フェスティバルを開催し、京都府産農林水産物及び農林水産業への理解を深めます。			
取組の実績	京都府農林水産フェスティバル2023を開催しました。 開催日：令和5年11月25日（土）、26日（日） 場 所：京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 来場者：45,000人（2日間合計）			
評価	A			

担当または窓口 農産課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動			
取組の内容	京都府内の生活研究グループ等が取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。			
取組の実績	伝統食の講習会や、地域の若い女性農業者グループと合同で行事食などの料理実習を行ったり、積極的に食育活動を行いました。また、今後の自身の食育活動に役立てられるよう料理本を作成について支援しました。 各地域に保持されている技能の登録や、農山漁村伝承優秀技能認定者の講師活動・伝承活動の場作りを積極的に行い、普及センターだよりへ掲載するなど、啓発・PRにも努めました。			
評価	A			

担当または窓口 農産課		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	茶育の推進			
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催（山城広域振興局）や、小学校での「宇治茶ふれあい教室」（茶協同組合）による茶育を行います。			
取組の実績	「キッズ茶ムリエ」は、対面形式で3回開催し、おいしいお茶の淹れ方教室を行いました。（参加者：小学生100人） 「宇治茶ふれあい教室」は、小学校単位で8回開催し、お茶の入れ方やお茶の種類・効能についての講義などを通じた茶育を行いました。（参加者：小学生478人）			
評価	A			

担当または窓口 畜産課

施策	食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-------------	----	---

取組事項名	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発		
取組の内容	<p>畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやツイッターをはじめとしたインターネットを通じた情報発信ツールを活用し、京都産畜産物の歴史や府内畜産農場に関する情報を発信することで、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消を推進します。</p> <p>目標：ICTを活用した畜産物等に関する情報の発信 年20回（R5:R4:15回、R3:10回）</p>		
取組の実績	<p>畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやX（旧ツイッター）で、「京都産和牛」をはじめとした京都産畜産物や京のこだわり畜産物生産農場について発信し、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消の推進を図りました。</p> <p>実績：ICTを活用した畜産物等に関する情報の発信 年54回</p>		
評価	A		

担当または窓口 水産課

施策	学校等、食育の関心	目標	
----	-----------	----	--

取組事項名	水産教室の開催		
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、府職員が京都の海や魚、漁業などに関する講義を行います。		
取組の実績	<p>小学生を対象に京都の海洋環境、漁業・養殖業の概要について講義を行いました。</p> <p>①「海と日本プロジェクト in 京都実行委員会（KBS京都）」から京都の漁業等についての講演依頼があり、令和5年6月1日及び12月21日に、京都市内の小学校で児童計51名に対し京都の漁業、養殖業等についての講演を実施しました。</p> <p>②令和5年7月28日に海洋センター等の一般公開を開催し、その中で、「京都の海講座」を行い、子ども29人、大人35人に対し京都の漁業、養殖業等についての講演を実施しました。</p>		
評価	A		

担当または窓口 水産課

施策	地域、食育の関心	目標	
----	----------	----	--

取組事項名	都市漁村交流の促進		
取組の内容	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流活動に取り組む団体等を支援します。		
取組の実績	<p>蒲入水産(株)による「漁港めし」の取組に対し、取組の改善やPR等の指導を実施しました。また、近隣地区で開始された漁業会社による飲食店の取組との差別化等について助言しました。</p> <p>利用者は令和5年5月3日から9月30日までの土、日及び祝日で2,504人でした。</p>		
評価	A		

担当または窓口 大学政策課

施策	食育の関心	目標	8
----	-------	----	---

取組事項名	和食文化人材の育成		
取組の内容	<p>和食文化を、歴史学・文学・人類学・経営学・食品科学などの専門的な視点から教育・研究する中で、座学を中心とした学びとともに、京都の地の利を活かし、食に関わる料理人や生産者、消費者が、何を見、何を感じているかを、フィールドワーク・演習・実習で学び、和食文化の学識の上に、真の教養人として、現代人の知的関心に応え、世界に日本文化を発信する人材を育成します。</p> <p>目標：和食文化人材の育成人数（京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数） 120人/年</p>		
取組の実績	<p>和食文化を文系から理系にわたり横断的に習得できるカリキュラムを提供し、次代の和食文化を担う人材育成に貢献しました。</p> <p>実績：和食文化人材の育成人数（京都府立大学文学部和食文化学科在籍者数）：134人/年</p>		
評価	A		

担当または窓口 循環型社会推進課

施策	食育の関心	目標
----	-------	----

取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施	
取組の内容	府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、10月の食品ロス削減月間を中心に、民間事業者等と連携した啓発を実施します。 また、京都府食べ残しゼロ推進店舗について、小売事業者向けの食品ロス削減セミナーで周知を行います。	
取組の実績	企業と連携し、食品小売店等でポスター及びてまえどりPOPを掲示し、府民に向けて一斉に啓発を行いました（てまえどり＝すぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ行動）。 他に、府内の主要な駅構内等のデジタルサイネージをはじめ、府のYouTube、X等のSNSを通じた啓発を行い、食品ロス削減に向けた取組の実践を広く呼びかけました。 また、京都府食べ残しゼロ推進店舗の登録制度についても、食品小売事業者向けの食品ロス削減セミナーにおいて周知を行いました。	
評価	A	

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標
----	-----------------------	----

取組事項名	郷土料理作り	
取組の内容	体験プログラムの一つとして実施します。地域の方を講師として招き、丹後ならではの調理法や魚のさばき方などを伝えます。丹後の食文化を学ぶとともに、地産地消、フードロス削減の考え方にも触れ、普段の生活スタイルを見直すきっかけづくりを行います。 目標：小学校単位での利用などで年2回程度	
取組の実績	地域の方を講師として招き、地域で水揚げされた鮮度の良い魚をさばき、郷土料理であるウゴ（エゴノリ）の調理行程を見学・体験いただきました。 この地域ならではの食を自らで調理し、体験的に五感で味わっていただきました。 実績：2回 参加者：46名	
評価	A	

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標
----	-----------------------	----

取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり	
取組の内容	小学校単位や親子を対象に、「おくどさん」でご飯を炊き、公園内でとれた木を薪にして燃料として使うおくどさん体験や夕食づくりを実施します。	
取組の実績	園内に落ちている枝や落ち葉を用いて、マッチで火付けを行いました。水の量や火の加減、炊き上がりを調べる方法などを伝え、参加者自身でご飯を炊きました。 時には、バイオマスエネルギーの話などを交え、再生可能エネルギーについても学ぶ機会としました。 実績：15回 参加者：292人	
評価	A	

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

		施策	学校等、地域、 食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	石窯パン・ピザ作り			
取組の内容	親子を対象に、石窯によるパン・ピザ焼き体験を行います。国産小麦を使用し、フードマイレージの話なども行います。			
取組の実績	粉は国産のものを使用し、フードマイレージの話も踏まえて体験を提供しました。生地発酵には太陽熱を使用し、電気に頼らず調理を行いました。園内の整備で出た薪を使用して薪割りなどの体験も行いました。 実績：16回 参加者：321人			
評価	A			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

		施策	家庭、地域、 食育の推進、新たな日常	目標
取組事項名	アースデイ丹後			
取組の内容	アースデイ丹後では、地元食材である魚介類や米などを使ったフードの出店を推奨し、来場者に提供を行います。原則、電気を使用せずに公園内でとれた薪や地元産の炭を使って調理を行います。			
取組の実績	旬の野菜や魚、ジビエや環境に配慮して作られた野菜や米などを使ったフードを用意し、当日は500人程度の来場者がありました。食を通して地球環境の事を考えるきっかけづくりが行えました。			
評価	A			

担当または窓口 文教課

		施策	学校等	目標
取組事項名	私立幼稚園・学校等への食育推進事業			
取組の内容	園児・生徒の健康な心身の形成及び安心な生活基盤の育成を図るため、食育に関する学習等に取り組む私立幼稚園・学校等を支援します。			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、食育に関する教育活動を実施した私立幼稚園・小学校の取組（99件）に対し、支援を行いました。 私立学校（園）に対し、京都府の食育関連事業である「きょうと食いく先生等派遣事業」「食育トークショーの開催」「“できる”から始まる楽しい食育動画」等についての周知を行いました。 			
評価	A			

担当または窓口 こども・青少年総合対策室

		施策	学校等	目標
取組事項名	食育に関する事業案内等の周知			
取組の内容	農政課からの食育に関する事業案内等について、府内の保育所や認定こども園に周知を行います。			
取組の実績	農政課からの食育に関する事業案内等について、市町村を通じて府内の保育所や認定こども園に広く周知を行いました。			
評価	A			

担当または窓口 家庭支援課

施策	地域	目標
----	----	----

取組事項名	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進		
取組の内容	すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもたちが安心して過ごせ、育ちや学びを総合的にサポートする「きょうとこどもの城」において、生活習慣の確立に向けた取組の一環として、食育の観点に配慮しながら、調理実習等を含めた食事の提供を行います。		
取組の実績	ひとり親家庭のこどもの居場所において、食育の観点に配慮しながら、生活習慣の確立に向けた支援を実施しました。 実施箇所 36箇所		
評価	A		

担当または窓口 高齢者支援課

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成		
取組の内容	高齢者の介護予防に資する通いの場において、フレイル・低栄養予防の指導を行う管理栄養士・栄養士を養成します。 ・通いの場など介護予防事業に従事する管理栄養士等への研修を実施 ・年1回、対面又は動画配信により開催		
取組の実績	令和5年度 介護予防従事者スキルアップ研修を開催しました。 ・開催：令和6年2月21日～3月20日（この間に動画視聴） ・参加者：95名（管理栄養士等の職以外の者も含む）		
評価	A		

担当または窓口 健康対策課

施策	地域	目標	6
----	----	----	---

取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加		
取組の内容	①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。 目標：800店舗の登録		
取組の実績	「エネルギー表示」「野菜たっぷりメニュー」「塩分ひかえめメニュー」「アレルギー表示」に取り組み府内飲食店などを『きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店』として登録し、店舗での表示やホームページにおける周知を行い、府民自らが健康を考えたお店選びに生かすとともに、飲食店の健康意識の向上を図り、健康的な食環境整備をすすめました。 実績：811店舗		
評価	A		

担当または窓口 健康対策課

施策	地域	目標	1
----	----	----	---

取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数		
取組の内容	「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。 目標：年10,000個の販売		
取組の実績	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」について、年9,906個の販売実績があり、また、22種の弁当を認定しました。栄養バランスの良い食事をとりやすい環境・体制を整備し、正しい食習慣について普及啓発を行う機会となりました。 実績：年9,906個の販売		
評価	B		

施策	家庭、食育の関心	目標
----	----------	----

取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発	
取組の内容	健康づくりイベントや、食育推進月間や食生活改善普及運動にあわせて、野菜の摂取やバランスの良い食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育の啓発を行います。	
取組の実績	<p>野菜摂取（フードモデルの展示）やバランスの良い食べ方等、食育の啓発を下記のとおり行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長岡京市まるごとヘルシーフェスタ 開催日：令和5年9月9日（土） 場 所：バンビオ（長岡京市中央生涯学習センター） 参加者：98名 ○大山崎町歯のひろば 開催日：令和5年11月18日（土） 場 所：大山崎町保健センター 参加者：22名 ○保健所ロビーでの啓発 食育推進月間 実施期間：令和5年6月 食生活改善普及運動 実施期間：令和5年9月 	
評価	A	



施策	地域、食育の関心	目標
----	----------	----

取組事項名	山城マルシェの開催	
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。 目標：6回	
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の京都「山城いちおしマルシェ」」を開催しました。 開催日：令和5年9月16日（土）～18日（月）（3日間） 場 所：イオンモール久御山 内 容：のべ31店舗が出店し、山城地域の農産物やそれらを活かした加工品を販売 ・山城マルシェ in JR宇治駅を開催しました。 開催日：令和5年6月13日（火）、7月11日（火）、10月10日（火）、11月14日（火）、12月12日（火）、令和6年1月16日（火） 計6回 場 所：JR宇治駅 内 容：京やましろ産食材提供店、直売所、生産者のべ58店舗が出店し、山城地域の季節の野菜や加工品等を販売 	
評価	A	

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、新たな日常	目標	
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大				
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：10店舗				
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・8月24日～9月29日を募集期間として、登録店舗を募集しました。 ・11月14日の外部審査員6名による審査を経て、26店舗（飲食店18店舗、小売店13店舗（うち5店舗重複））を新規登録しました（登録店舗総数146店舗）。 実績：26店舗				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	家庭、食育の関心、新たな日常	目標	9
取組事項名	やましろ産食材を使った商品開発と情報発信				
取組の内容	山城産食材を使用したメニュー開発を希望する京やましろ産食材店と生産者とをマッチングし、産地勉強会、新メニューの発表会を行い、産地への理解を深め、山城産食材の利用促進を行います。 対象：京やましろ産食材店、生産者 目標：3メニューの商品開発				
取組の実績	令和6年1月15日～2月20日に京やましろ産食材店（16店舗）において、山城で生産された九条ねぎ、花菜、米（ヒノヒカリ）等を使ったメニューを提供する「食の京都山城産いちおしメニューフェア」を開催しました。 実績：18メニューの商品開発				
評価	A				

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	家庭、食育の関心、新たな日常	目標	
取組事項名	山城の食文化体験と情報発信				
取組の内容	府民が地域の食文化を学び、家庭において料理をつくることにより、地域食材の利用促進を行います。 対象：一般府民 目標：1回				
取組の実績	3月14日（木）に開催を予定していましたが、講師の都合が悪くなり開催できませんでした。				
評価	B				

担当または窓口 山城北農業改良普及センター		施策	地域	目標	1
取組事項名	京田辺市生活研究グループ連絡協議会 料理講習会				
取組の内容	男性向けにだしの取り方など簡単に調理できる料理講習会の開催に向け、京田辺市生活研究グループ連絡協議会へのレシピ作成等支援を行う。				
取組の実績	農作業等で繁忙のため、未開催となりました。				
評価	B				


担当または窓口 山城南農業改良普及センター		施策	学校等、地域、食育の関心	目標
取組事項名	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）			
取組の内容	木津川市が主催し、農業体験を通じて、食や農業の大切さを学ぶため、相楽（さがなか）地域の農家の水田で小学生（4校、総数200名程度）に対して田植え（6月初旬）、稲刈り体験（10月）を行います。普及センターは運営支援を行います。			
取組の実績	木津川市農政課主催で、田植え体験を実施しました。 開催日：6月5日（月）、8日（木）、13日（火） 場 所：木津川市相楽 講 師：地域の農業者 参加児童数：相楽地域の小学生188名 普及センターは、運営支援を行いました。			
評 価	A			

担当または窓口 山城北保健所		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	健康づくりイベント等における食育啓発活動				
取組の内容	各種イベント等、様々な機会において、望ましい食生活に関する情報提供や体験の機会を設ける等、食育の啓発を行います。				
取組の実績	①うーちゃフェスタ内ブースにて、体験（塩分味覚チェック、血管年齢測定）及び健康づくり・正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和5年12月17日（日） 場 所：宇治市生涯学習センター及び産業会館 参加者：142名 ②スーパーと連携した適塩及び野菜摂取増加を目的とした啓発イベントを実施しました。 開催日：令和6年2月11日（日） 場 所：アル・プラザ京田辺店 参加者：134名				
評 価	A				

担当または窓口 山城北保健所		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発				
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。				
取組の実績	①集団健診会場にて、体験（塩分味覚チェック、血管年齢測定、スモーカーライザー、歯周病チェック等）や展示等により健康づくり・正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和5年7月4日（火） 場 所：城陽商工会議所 参加者：約100名 ②事業所と連携し、ミニ講話や体験（塩分味覚チェック、ロコモチェック等）、展示等により健康づくり・正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：①令和5年9月12日（展示は11月7日まで実施） ②令和5年10月17、18日（展示は11月20日まで実施） 場 所：①谷テック ②MMCツーリング 参加者：①33名 ②47名				
評 価	A				

担当または窓口 山城南保健所

施策	地域	目標	1
----	----	----	---

取組事項名	社員食堂を通じて健康づくりに取り組む企業への情報発信		
取組の内容	健康づくりのための啓発媒体等による支援を行います。 食堂での健康に配慮した食習慣を身につけるよう取り組みます。 目標：2事業所		
取組の実績	管内2事業所にて社員食堂を通じて食生活改善の啓発を行いました。 開催日：①令和5年9月13日（水）、②9月26日（火）、27日（水） 場 所：①関西光量子科学研究所 大会議室、 ②京セラ株式会社けいはんなリサーチセンター社員食堂 参加者：①51人、②76人 内 容：個別の食生活相談を実施したところ、20件の相談がありました。 味覚閾値検査（ソルセイブ）は、121人の参加があり、 減塩について啓発を行いました。 実績：2事業所		
評 価	A		

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部地域づくり振興課

施策	地域	目標	
----	----	----	--

取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催		
取組の内容	ボランティアと農家とが一緒になって農作業で汗を流し、おいしい農産物をつくります。農村地域等との交流をとおして、農山村の活性化や地産地消を推進し、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。		
取組の実績	京都丹波の6地区で農作業応援を27回開催し、延べ156人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。 また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。		
評 価	A		

担当または窓口 南丹農業改良普及センター

施策	学校等	目標	3
----	-----	----	---

取組事項名	地元小学校の児童を対象とした食育活動		
取組の内容	京丹波町瑞穂地区で水稻を生産している法人の食育活動を支援します。地元小学校の授業で生産者から苗づくりと田植えの方法について紹介後、普及センターから米づくりの手順や地産地消に関する講義を行います。 時期：令和5年5月下旬 対象：京丹波町立瑞穂小学校児童		
取組の実績	地元小学校で米づくりの手順や地産地消についての資料を配付し、講義をしました。 実施日：令和5年5月15日（月） 場 所：京丹波町瑞穂地区水稻生産ほ場 対 象：京丹波町瑞穂小学校 児童23名、教員3名 内 容：生産者から苗作りと田植えの方法について紹介した後、 米づくりの手順と米の年間消費量の推移について説明。		
評 価	A		

施策	家庭、学校等、地域	目標
----	-----------	----

取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催	
取組の内容	<p>南丹地域の食による健康長寿を目指すことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。また、本部会にて「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカードを作成し、野菜摂取量向上に向け、農産物直売所・一般飲食店・クックパッド京都府公式キッチン・食環境部会構成団体を通じて、広く普及します。</p> <p>目標：食環境部会の開催 年1回 直売所及び飲食店への配布 年2回、配布枚数 計10,000枚</p>	
取組の実績	<p>きょうと健康長寿府民会議 食環境部会について以下のとおり実施しました。</p> <p>開催日：令和5年6月19日(月) 場 所：南丹保健所 講堂 出席者：構成団体15団体16名 内 容：食生活の課題である「若者世代の野菜摂取不足」の改善に向けた取組の協議 共通媒体(なんたん・かんたん・やさいレシピカード)の検討 各団体の取組の共有や意見交換 等</p> <p>管内の希望された施設へ「なんたん・かんたん・やさいレシピカード」を配布しました。その他にも、クックパッド京都府公式キッチンにて野菜レシピカードを計54種類掲載しており、令和5年度は、17,000件を超えるアクセスを得ました。</p> <p>【なんたん・かんたん・やさいレシピカードの配布】 配布時期：随時(直売所等への配布：8月、2月) 配布先：食環境部会構成団体、69カ所の施設（常設野菜直売所49カ所、加工研究会代表(地域の農産物や伝統技法等を用い、製造加工を行っている施設)等5カ所、一般飲食店(食情報提供店)15カ所)等 配布数：計12,390枚</p> <p>実績：食環境部会の開催：年1回 直売所及び飲食店等への配布：年2回、配布枚数 計12,390枚</p>	
評 価	A	

施策	家庭、地域	目標
----	-------	----

取組事項名	京都丹波地域配食サービスリストの更新及び普及	
取組の内容	<p>南丹地域で食事について課題を持っている住民が、ニーズにあった食サービスが利用できるよう、利用可能な配食サービス資源リストを最新情報に更新し、必要とされる方が利用される施設等(病院、地域包括支援センター、訪問介護、訪問看護等)へ広く周知します。</p> <p>目標：更新年1回</p>	
取組の実績	<p>配食サービスリストの更新は、他の媒体(食形態名称一覧表)の更新時期と合わせることとなり、今年度は見送りました。今年度は必要に応じ、現行のリストを配布するとともに、次年度のリスト更新に向け、配布先へ活用状況の確認を行いました。</p>	
評 価	B	

施策	家庭、学校等、地域	目標	
----	-----------	----	--

取組事項名	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくりの取組「けんこう食堂化プロジェクト」		
取組の内容	管内の課題である、働き盛り世代の「体重増加」、食生活の面では、青・壮年期の「野菜摂取量の不足」の解決に向け、大学・企業と保健所が協働で健康講座や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めます。 目標：1箇所以上		
取組の実績	働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」の継続フォローとして、社員食堂を持つ事業所と連携し、以下のとおり実施しました。 開催日：令和6年2月16日(金) 場 所：管内事業所 参加者：事業所従業員 77名 内 容：「適正体重を目指した食事」に関する啓発・展示 実績：1箇所		
評 価	A		

施策	学校等、食育の関心	目標	3
----	-----------	----	---

取組事項名	多様な人材の農業参入・参画を促進（幼稚園）		
取組の内容	農業者数の減少傾向が一層顕著となる中、地域農業・農村を維持するための新たな取組として、「幼稚園児」に焦点をあて、「きょうと食いく先生」と協働し、自分が住む地域の農業について理解を深め、収穫体験を行った野菜を試食する経験を通して、将来農業に従事する人材を育てる取組を行います。また、取組について保護者にもPRを行います。 育てる作物：黒大豆枝豆 場 所：福知山市立福知山幼稚園 実 施 方 法：福知山幼稚園の畑で「きょうと食いく先生」と共に黒大豆枝豆を栽培する。 収穫した黒大豆枝豆は福知山幼稚園で試食する。		
取組の実績	普及センターが幼稚園の菜園で園児に、きょうと食いく先生が育てた黒大豆枝豆を使って苗の植え方を教えました。しかし、エダマメは高温障害で実らず、代わって同食いく先生が生産したエダマメで作った豆ご飯を、園児が食べました。 開催日：6/23、10/25、10/27 場 所：福知山幼稚園 参加者：福知山幼稚園 年中、年長（50名） 実 績：3回		
評 価	A		

施策	学校等、食育の関心	目標
----	-----------	----

取組事項名	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）	
取組の内容	<p>農業者数の減少傾向が一層顕著となる中、地域農業・農村を維持するための新たな取組として、「小学生」に焦点をあて、地元農家と協働し、自分が住む地域の農業について理解を深め、自分たちが育てた野菜を学校給食で食べる経験を通して、将来農業に従事する人材を育てる取組を行います。また、取組について保護者にもPRを行います。</p> <p>育てる作物：①たまねぎ ②小松菜 場 所：①福知山市立大江学園 ②福知山市立三和学園 実 施 方 法：①地元農家ほ場で栽培するたまねぎの収穫体験を行う。 収穫したたまねぎは6、7月の学校給食で福知山市の小中学生に提供される予定。 ②地元農家ほ場で栽培する小松菜の収穫を行う。 収穫した小松菜は冬の学校給食で福知山市の小中学生に提供される予定。</p>	
取組の実績	<p>①大江学園、②三和学園はともに、初日に、近隣のきょうと食いく先生がスライドで収穫体験予定の野菜の栽培方法等について説明し、中日にそれぞれ①タマネギ、②コマツナの収穫作業を教え、最終日に児童は、福知山市の全小中学生の学校給食（約7,500食分）にも提供された学校給食を食べました。</p> <p>開催日：①大江学園（5/25、6/8、6/14） ②三和学園（11/24、11/28、11/30） 場 所：①大江学園、②三和学園 参加者：①大江学園5年生児童 23名、 ②三和学園5年生児童 12名</p> <p>実 績：6回</p>	
評 価	A	

施策	学校等、食育の関心	目標	3
----	-----------	----	---

取組事項名	多様な人材の農業参入・参画を促進（小学校）	
取組の内容	<p>農業者数の減少傾向が一層顕著となる中、地域農業・農村を維持するための新たな取組として、「小学生」に焦点をあて、「きょうと食いく先生」と協働し、自分が住む地域の農業について理解を深め、自分たちが育てた京野菜を学校給食で食べる経験を通して、将来農業に従事する人材を育てる取組を行います。また、取組について保護者にもPRを行います。</p> <p>育てる作物：①えびいも ②さつまいも 場 所：①福知山市立修斉小学校 ②福知山市立惇明小学校 実 施 方 法：①修斉小学校は近隣のきょうと食いく先生ほ場でえびいもを育てる。 収穫したえびいもは12、1月の学校給食で福知山市の小中学生に提供される予定。 ②きょうと食いく先生ほ場で栽培するさつまいもの堀取りを行う。 収穫したさつまいもは11月の学校給食で福知山市の小中学生に提供される予定。</p>	
取組の実績	<p>修斉小学校では、初日にえびいもの講義を普及センターが、水稻の講義を近隣のきょうと食いく先生が行いました。以降は食いく先生と普及センターが協同して、児童にいも苗定植を教え、えびいもの土入れ機械の見学会を開催し、えびいもの収穫作業を教えていきました。収穫したえびいもは12、1月に福知山市の全小中学生の学校給食（約7,500食分）にも提供された学校給食で食べました。</p> <p>惇明小学校では、初日に普及センターがエダマメの講義を行いました。その後全員で苗を植える予定でしたが悪天候のためクラスの代表児童のみで植えました。しかし、エダマメは高温障害で実らず、代わって同食いく先生が生産したさつまいもを、10月19日にたき火で蒸かし児童全員で食べました。</p> <p>開催日：①修斉小学校（5/8、5/11、7/6、11/9） ②惇明小学校（6/23、10/19） 場 所：①修斉小学校、②惇明小学校、福知山市半田 食いく先生のえびいもほ場 参加者：①修斉小学校5年生児童 46名、②惇明小学校5年生児童 97名</p> <p>実 績：6回</p>	
評 価	A	

担当または窓口 中丹西保健所保健課		施策	地域	目標
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議			
取組の内容	府内で共通して行う健康づくり事業、地域の特性に応じて行う健康づくり事業を進める場として、「きょうと健康長寿推進府民会議」を設け、推進会議等を開催し、府民が自ら疾病予防や生活習慣の改善に取り組むきっかけづくりを行います。			
取組の実績	<p>地域府民会議を開催し、福知山市が健康増進を目的に導入しているヘルスアップアプリ「福知山KENPOS」を活用した事業所の健康づくりの事例を共有、市の健康づくりに係る取組を参加団体へ周知することができました。</p> <p>また、国民の健康に関する方針である健康日本21（3次）の基本的な方向性を共有でき、参加団体が今後の健康づくりに係る取組について見直すよいきっかけづくりになりました。</p> <p>参加団体数：15団体</p>			
評価	A			

担当または窓口 中丹西保健所保健課		施策	地域	目標
取組事項名	社員食堂を通じた健康づくりの取組			
取組の内容	超高齢社会の担い手である働き盛り世代等、若い世代の疾病予防を食生活から支え、健康増進を図ることを目的に、社員食堂を通して卓上メモやポスターを用いた啓発を実施します。			
取組の実績	管内の社員食堂に、卓上メモやポスターを用い、減塩や野菜摂取に関する啓発を実施しました。介入後アンケートを実施したところ、「健康のために意識していることや、行動していることがある者の割合」が少し増え、具体的な取り組みを示した回答数が増加しました。結果は社員食堂担当者へ返却しました。			
評価	A			

担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心	目標
取組事項名	いちおし食材PRイベントの開催			
取組の内容	<p>丹後地域の食の魅力発信を目的に、いちおし食材PRイベントを開催します。</p> <p>目標：3回</p>			
取組の実績	<p>丹後産食材の魅力について丹後地域内外の府民に知ってもらえるよう、さまざまな手段を用いて情報発信を行いました。</p> <p>【丹後王国SUMMER FESTA2023】 日 時：令和5年8月5日（土）～8月13日（日） 来場者：延べ11,839名 内 容：道の駅 丹後王国「食のみやこ」にて、丹後産の旬のフルーツ及び水産物を題材とした「ミニ水族館」や「クイズラリー」等の子供が楽しめるイベントを実施。</p> <p>【「食の京都」ごちそう丹後博】 日 時：令和5年8月26日（土） 参加者：64名 内 容：ビュッフェスタイルで料理を楽しむとともに、丹後で育てた野菜や果実、魚貝類について、生産者から直接話を聞き、魅力を知ることができるイベントを開催。</p> <p>【「たんごのうみや～野菜で作ってみよう」調理体験イベント】 日 時：令和5年11月3日（金） 参加者：30名（大人13名、子ども17名） 内 容：丹後地域の食材を使って、農産物をおいしく食べるための工夫や、食材を捨てずに使い切ることの大切さを親子で学ぶことができる調理体験を実施。</p> <p>【SNSを用いた丹後産食材の魅力発信】 発信日：令和6年3月22日（金）～ 内 容：丹後地域へのインバウンド等の観光誘客促進のため、丹後の「食」を題材に、「自然」や「観光」の要素を掛け合わせたPR映像を制作し、海の京都DMO公式Instagramにて投稿。 構 成：リール動画15秒×3本 閲覧数：総再生回数10万以上（令和6年3月29日時点）</p>			
評価	A			

担当または窓口 丹後農業改良普及センター		施策	学校等	目標
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援			
取組の内容	小学校が「総合的な学習の時間」において取り組む、3年生を対象にした大豆についての学習、栽培、収穫及び味噌加工までの一連の体験の内、学習と栽培を普及センターが支援します。			
取組の実績	宮津小学校の3年生を対象に、大豆の学習及び播種作業の支援を実施しました。 開催日：令和5年6月7日（水） 場所：宮津小学校及び近隣ほ場 参加者：3年生68人、教員4名 収穫後、地域の方を講師に1月23日には豆腐づくり体験、2月9日には世屋みそづくりに挑戦しました。味噌はじっくり1年発酵させます。			
評価	A			

担当または窓口 丹後保健所		施策	家庭、学校等、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	食育講演会の開催			
取組の内容	農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりを進めることを目的とした講演会等を開催します。 目標：1回			
取組の実績	食育講演会を開催しました。 開催日：令和6年3月25日（月） 場 所：WEBと丹後保健所講堂 参加者：112名 内 容：講師 和洋女子大学家政学部健康栄養学科 教授 杉浦令子氏 「将来の健康を見据えた子どもの生活習慣病予防と食の重要性～栄養教育や食事の現場で役立つ指導のポイント～」 実践報告 宮津中学校 須佐美佑吏栄養教諭 「宮津中学校での食育の取り組み～健康課題に対する個別的な相談指導の実績～」 報告 健康対策課 熊谷副主査 「京都府の子どもたちを取り巻く食環境と健康課題」 実 績：1回			
評価	A			




担当または窓口 丹後保健所		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食育月間の取組			
取組の内容	食育月間である6月に振興局庁舎内府民ホールにおいて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。			
取組の実績	「適塩」をテーマにリーフレットやフードモデル等を展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。 展示日：6月12日（月）～6月30日（金）			
評価	A			




施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進	
取組の内容	<p>「食に関する指導の全体計画」に基づき、全教職員の共通理解のもと、体系的・継続的に食育の取組を展開し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるよう取り組みます。</p> <p>また、食育に関する教職員の意識の向上を図り、各教科等や特別活動等、あらゆる機会を通じた食に関する指導を充実します。</p>	
取組の実績	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導の全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体で取組を進めました。</p> <p>【実践例】 総合的な学習の時間に市内で作られた魅力ある野菜を知ってもらうために地域の食材を取り入れた献立作りを行いました。社会福祉協議会と連携し、高齢者の方への配食サービスのメニューとして採用されました。農家の方への取材、調理実習等を行い、改善を重ねながら地産地消のメニューを考えました。また、食材やメニューに込めた思いを書いたチラシも作成しました。</p>	
評価	A	

施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	調理体験等の充実	
取組の内容	<p>基礎的・基本的な調理の知識と技能を身に付け、日常生活で実践できるようにします。朝食や食事の組み合わせや食文化の継承等について理解を深めるとともに、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わう取組をします。</p>	
取組の実績	<p>各学校は、家庭科、技術・家庭科の授業等において、様々な工夫を凝らしながら、学校や地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。</p> <p>【実践例】 防災食や日頃の備えについて考える機会として、ポリ袋を活用した調理実習を実施しました。自分だけでなく、高齢者や子ども、病気や障がいのある人など、普通食を食べることのできない人のことまで考慮しながらカレーライスを作りました。</p>	
評価	A	

施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	学校給食を活用した食育の推進	
取組の内容	<p>将来にわたる健康の保持増進のため、教科等と関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図ります。</p>	
取組の実績	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。学校給食を実施している府内すべての小・中学校・義務教育学校・府立学校等で「和食の日（11月24日）」について取組を実施しています。</p> <p>【実践例】 和食の日に合わせて、だしを効かせた給食（ご飯、聖護院大根と寒ブリの煮物、白菜の炊いたん、花ふと三つ葉のすまし汁、牛乳）を提供しました。また、この日に合わせて和食の日のおたよりを保護者に向けて配付しました。子どもたちからは「だしの香りがする」などの声が聞かれ、給食への興味・関心の高まりを感じました。</p>	
評価	A	

施策	家庭	目標	2
----	----	----	---

取組事項名	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進		
取組の内容	心身の成長や健康の保持増進の上で食事は規則正しく摂ることが大切であり、特に朝食を摂るなど望ましい食習慣を身に付けるよう取組を推進します。		
取組の実績	<p>各学校の特別活動や総合的な学習やその他授業等において、朝食の大切さを学習し、日々の食生活について振り返る機会となりました。</p> <p>【実践例】 理科「動物の体のつくりとはたらき」の発展内容で、朝食指導を行いました。授業で学習した内容を振り返りながら、朝食を食べなかった場合は体の中でどのようなことが起きているのかを考える活動を通して、「脳のエネルギーはブドウ糖のみで、エネルギーがなくなってしまうと血糖値が下がり、脳の活動が低下してぼーっとしてしまうから。」など、栄養分やその働きに着目して説明できる生徒が増えました。</p>		
評価	A		

施策	学校等	目標	4
----	-----	----	---

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進		
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食等を取り入れることにより、食文化や地産地消への理解を深めるよう給食を通じた指導もあわせて実施します。		
取組の実績	<p>「食に関する指導充実指定事業」「食育月間」「食育の日」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用し地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での資料やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し普及を図りました。</p> <p>【実施例】 生徒が給食を通じて自分たちの住む地域が「食」に恵まれていることを実感し郷土愛を持つことができるよう、地元産食材を多く活用した給食献立を実施しました。（食育の日である19日またはその前後に実施しました。）また、家庭に配付する給食献立表や、給食時間中の放送（給食委員会の生徒または栄養教諭が担当）にて、その日の献立内容や使用している地元産食材を紹介しました。</p>		
評価	A		



施策	学校等	目標	3
----	-----	----	---

取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成		
取組の内容	食の専門家である「きょうと食いく先生」や「食生活改善推進員」等の外部講師による指導、更には地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。		
取組の実績	<p>各学校では、きょうと食いく先生や地域の生産、関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験活動を実施しました。</p> <p>【実施例】 地域の婦人部の方と連携し魚料理教室を開催しました。1人5・6匹ずつの「とびうお」を3枚におろしました。以前から魚料理にとっても興味を持っている子ども達でしたが、魚をさばくのは初めてでした。一つ一つ丁寧に教えて頂き、手際よく料理をして、『とびうおハンバーグ』と『とびうお団子汁』を作りました。帰ってから各家庭で話したり、おうちの方に教わりながら魚を下ろしたりした様子もありました。</p>		
評価	A		



担当または窓口 保健体育課

施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	教職員研修の充実		
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進交流会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。		
取組の実績	初任者・新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実指定事業」における京都府食育推進研修会及び交流会、京都府学校給食衛生管理推進研修会、京都府学校給食研究協議大会等において、教職員の食育に対する意識が向上するよう各種研修会等を開催しました。		
評価	A		

担当または窓口 教職員人事課

施策	学校等	目標
----	-----	----

取組事項名	採用選考試験等の実施		
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。		
取組の実績	今年度、栄養教諭6名を採用し、全体で98人（京都市を除く）の配置数となりました。		
評価	A		